

中学校日記

学校生活の1コマを学生の手作り(写真・文)でお届けします。



#みんなで募金活動を盛り上げる
#募金ありがとうございます！
#あいさつで地域を元気に

kiyama_chuugakkou

能登半島地震災害への募金活動と小・中合同
あいさつ運動~たくさんの人を元気づけたい~



きやまくん

木山中生徒会は、2学期の終わりに新旧交代を行い、現在、2年生を中心として生徒会活動に励んでいます。1月中旬には「令和6年能登半島地震災害への募金活動」、2月上旬には「小・中合同あいさつ運動」を行いました。募金活動ではたくさんの生徒が協力してくれ、とてもうれしく思いました。これからも執行部や委員会活動を中心に、学校をより良くするための活動を行いながら、困っている人々や地域の人々に元気を与えることができるような取り組みを考えていきたいと思ひます。



私がお伝えします

木山中生徒会の
会長 太田凌雅さん(2年生)

MASHIKI TOWN CHIIKI- OKOSHI

「まち全体が
学びの場」

Vol.56



地域おこし協力隊
いのしたゆりか
井下友梨花さん

地域の中に、もっと若者の「出番」を

町が「まち全体が学びの場」のように、どこに行っても楽しく学びの多い場所になったら良いなと思ひ、ここ数年活動してきました。学校も重要な学びの場ですが、地域の中にもさまざまな学びの機会が転がっています。これまで、中学生が地域に関わる出番を増やすため、いろいろなイベントにボランティアとして参加できる機会を作ってきました。

活動後の振り返りでは、中学生から「地域の人から喜んでもらえてうれしかった」、「自分にも町のためにできることがあると分かり、もっと何かしたいと思ひました」と感想をもらいました。「お客」ではなく「作り手」としてその場にいることは、全く違う味わいがあるのかもしれない。

これからも、若者がそれぞれの「やってみたい」という気持ちを大切に、一緒に形にしていける地域であればいいなと願っています。

MASHIKI TOWN CHIIKI- OKOSHI

「町に虹色の
輝きを」

Vol.22



地域おこし協力隊
こなたかひろ
小仲貴宏さん

顔の見える自主防災クラブへ

安永4町内自主防災クラブの初めてのプロジェクト「親子で防災キャンプ」の企画に参加する機会をいただきました。

会長が目指す「顔の見える自主防災クラブ」をコンセプトとして、子どもたちが楽しみながら防災の知識を学び、併せて災害発生時を想定し避難所を運営する訓練を行うという企画を、一緒にアイデアを出し合いながら考えました。

普段、私たちはにじいろを活動の拠点としていますが、「新たに立ち上げたクラブで何かを始めたい」という要望に応え、にじいろを飛び出して活動できたことはとても大きな経験となりました。

完全復興に向けて前進する地域として、新たな被災地の希望となるような、町民の皆さんが無理なく続けられるプロジェクトに、これからも関わっていきたく思ひます。